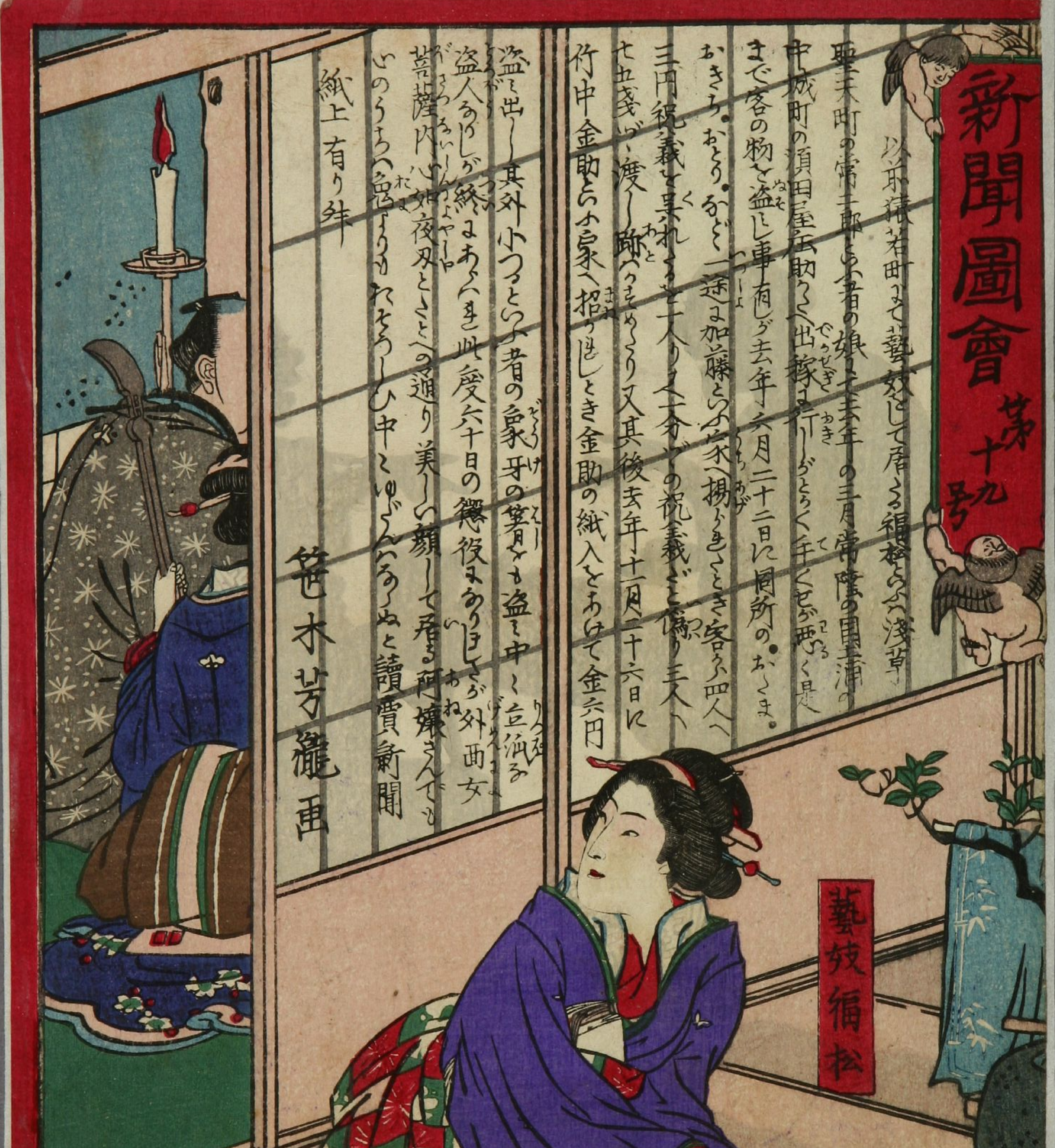
新聞圖會

第十九号



以前猿若町にて藝妓をして居る福松といふハ浅草聖天町の常三郎といふ者の娘にて去年の三月常陸の国土浦の中城町の須田屋庄助の方へ出稼に行しがとかく手くせが悪く是まで客の物を盗し事有しが去年六月二十二日に同所の・おくま・おきち・おとり・おかどと一途に加藤といふ家へ揚られしとき客が四人へ三円祝義を呉れるを一人りで一分づゝの祝義だと偽り三人へ廿五銭づゝ渡し跡へつきめくり又其後去年十一月二十六日に竹中金助といふ家へ招れしとき金助の紙入をあけて金六円盗み出し其外小つるといふ者の象牙の笄までも盗み中々立派な盗人なりしが終にあらはれ此度六十日の懲役になりしとか外面女菩薩内心如夜叉とことへの通り美しい顔して居る阿嬢さんでも心のうちハ鬼よりもおそろしい中々ゆだんハならぬと讀賣新聞紙上有り升

笹木芳瀧画

八尾善板